

# Red Hat Satellite でシステム をプロビジョニング、維持、ア ップグレード



## IT 運用を大規模に管理および 自動化

Red Hat Satellite は、セキュリティ、可用性、コンプライアンスの向上を支援するインフラストラクチャ管理ソリューションです。Satellite を使用すると、次のことが可能になります。

- ▶ 単一のコンソールからインフラストラクチャ全体を管理
- ▶ 標準化された運用環境を構築
- ▶ ハイブリッドクラウド環境全体の分散システムを管理

## 効率的な IT 運用の維持は継続的な課題

デジタル・ソリューションとインフラストラクチャに対する需要が拡大し続ける中、IT 組織にとって効率的な運用の維持はますます難しくなっています。たとえば、新たなリスクが発見された場合は大きな損失につながるセキュリティ侵害やダウンタイムを回避するため、各チームが迅速に対応し、システムの分析とアップデートを行う必要があります。複数のデータセンターやパブリッククラウドプロバイダーにまたがる大規模なハイブリッドクラウド環境は、複雑なメンテナンス、サポート、トレーニングを必要とします。また、時間のかかる手動プロセスはエラーにつながることが多く、IT スタッフが革新的で影響力の大きなプロジェクトに集中することを妨げます。結果として、テクノロジーリーダーにとって運用効率の向上は、依然として最優先事項となっています。<sup>1</sup>

Red Hat® Satellite は運用効率の向上に重点を置いており、システム管理の効率化と一般的なタスクの自動化によって、ハイブリッドクラウド環境のセキュリティ、可用性、コンプライアンスの向上を支援します。Satellite を使用すると、物理環境、仮想化環境、クラウド環境のインフラストラクチャ全体 (すべての Red Hat Enterprise Linux® システムを含む) を単一のコンソールから、プロビジョニング、維持、アップグレードできます。

## 標準化された運用で IT の生産性を向上

Satellite を使用すると、IT 運用を効率化および標準化して、効率性や生産性を向上させることができます。オペレーティングシステム、カスタム構成、アプリケーションを含む標準運用環境 (SOE) を定義および確立して、環境全体の一貫性を確保できます。また、イメージビルダーツールを使用して、直感的なグラフィカル・ユーザー・インタフェースにより、カスタマイズされたセキュリティとシステムのオプションを備えた、最適化された Red Hat Enterprise Linux のイメージを作成できます。そして、これらのイメージを、Red Hat テクノロジーやサードパーティパッケージを含む、他のすべてのアプリケーションスタックのレイヤーとともに、コアビルドに含めることができます。結果として、Satellite を使用している組織では、IT スタッフの生産性が 56% 向上しています。<sup>2</sup>

## 環境全体でシステムのデプロイを効率化

Satellite を使用すると、ハイブリッドクラウド環境全体で大規模にリソースのプロビジョニングを単純化できます。単一のプロセスを使用して、ベアメタル、仮想化、ハイブリッドクラウドのリソースの詳細なプロビジョニングを定義し、自動化することが可能です。保存されたイメージに基づいてパブリッククラウド環境のリソースをプロビジョニングし、仮想化インフラストラクチャのサービスとテンプレートを使用して仮想マシンをデプロイし、検出サービスを活用して利用可能なホストのプールを作成できます。結果として、Satellite を使用する IT 運用チームは、新しい仮想マシンのデプロイに必要な時間を 78% 短縮し、新しいサーバーのデプロイに必要な時間を 37% 短縮しています。<sup>2</sup>

<sup>1</sup> Nash Squared、[「2023 Nash Squared Digital Leadership Report」](#)、2023 年 11 月。

<sup>2</sup> IDC ホワイトペーパー (Red Hat 後援)、[「Red Hat Satellite によるエンタープライズ組織の支援: 自動化ツールを使用したインフラストラクチャの最適化」](#)、Document #US46109220、2021 年 8 月。



## Red Hat Satellite でビジネス価値を獲得

Red Hat Satellite を使用すると、システムを大規模かつ効率的にプロビジョニング、維持、アップグレードできます。Satellite は、測定可能なビジネス価値をもたらします。<sup>2</sup>

- ▶ **28%** 総運用コストを削減
- ▶ **56%** パッチ適用を効率化
- ▶ **78%** 新しい仮想マシンのデプロイを高速化
- ▶ **56%** IT インフラストラクチャの効率性を向上
- ▶ **14%** IT セキュリティチームの効率性を向上
- ▶ **23%** コンプライアンスチームの生産性を向上

## インフラストラクチャの信頼性と可用性を向上

Satellite を使用することで、計画的なダウンタイムと計画外のダウンタイムの両方を削減し、主要なアプリケーションとサービスの提供を改善できます。ローカルシステムとリモートシステム全体で、同時にホスト構成を適用、追跡、修復できます。シンプルな宣言型の言語を使用して望ましいシステム状態を定義すると、それに応じて Satellite がホストを構成します。また、単一のコンソールを通じて、構成ドリフトを自動的に検出、分析、修正し、すべての変更に関する詳細なレポートを表示することができます。

## セキュリティとコンプライアンスの管理を迅速化

Satellite は、環境全体にわたって、セキュリティの脆弱性に関するリスクを低減し、政府の要件、業界の規制、企業標準に関するコンプライアンスを強化します。Red Hat Insights の予測分析と高度な専門知識を活用して、共通脆弱性識別子 (CVE) やコンプライアンスリスク、パフォーマンスの問題によりアップデートが必要なホストを自動的に特定できます。この情報と Satellite コンソールを使えば、システムにパッチとアップデートを大規模に適用し、ハイブリッドクラウド環境における問題を迅速に修正することができます。実際、Satellite を使用している IT チームでは、セキュリティ管理の効率性が 47% 向上し、コンプライアンスチームの生産性が 23% 向上しています。<sup>2</sup>

## ハイブリッドクラウドのリソースを最適化

Satellite は、クラウドベースおよびデータセンターベースの高価なハードウェアリソースを常に最新の状態に保ち、総運用コスト (TCO) を削減するのに役立ちます。ハイブリッドクラウド環境のインフラストラクチャをアップグレードし、Red Hat Enterprise Linux の最新バージョンに移行することが可能です。ジョブテンプレートを使用すれば、既存の構成を維持しながら、すべてを再インストールすることなく、複数のホストを同時に次のメジャーリリースにアップグレードできます。また、Satellite の Convert2RHEL コーティリリティを使用して、インストール済みのアプリケーションや構成を保持したまま、サードパーティの Linux ディストリビューションを Red Hat Enterprise Linux に変換することができます。結果として、Satellite を使用している組織では、5 年間で TCO が 28% 削減されました。<sup>2</sup>

## 詳細はこちら

Red Hat Satellite を使用すると、プロビジョニングからメンテナンスや移行に至るまで、すべてのシステム管理要件を単一のコンソールから管理し、満たすことができます。Satellite のビジネス価値について詳細をご覧ください。



## Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザーであり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

f fb.com/RedHatJapan  
twitter.com/RedHatJapan  
in linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com  
1156688\_0524\_KVM

アジア太平洋  
+65 6490 4200  
apac@redhat.com

オーストラリア  
1800 733 428

インド  
+91 22 3987 8888

インドネシア  
001 803 440 224

日本  
03 4590 7472

韓国  
080 708 0880

マレーシア  
1800 812 678

ニュージーランド  
0800 450 503

シンガポール  
800 448 1430

中国  
800 810 2100

香港  
800 901 222

台湾  
0800 666 052